

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

不思議な世界へご招待

ジミー柴田さん来町

子どもたちにマジックの世界を楽しんでもらおうと、5月11日、日野町榎市出身のマジシャン、ジミー柴田さん（米子市）が、町内の保育所でマジックショーを開きました。

ジミーさんは、方言を織り交ぜながらロープやコインなどを使ったマジックを次々と披露、子どもたちは、指先から生み出される不思議な世界に歓声を上げながら見入っていました。

記念にハイ・チーズ！



海外でも公演を行うジミーさん。巧みな技術も活力のひとつ



地域と若者たちが交流

里人祭りin日野

都市部と中山間地域住民の交流を図ろうと、鳥取環境大学の学生グループ、中山間地域応援隊主催の「里人祭りin日野」が、5月14日に上菅地内で開かれました。

2回目の開催となる今回は、里山元気塾（小谷博徳塾長）の田植え体験講座と併せて開かれ、水田の中でのボールゲーム「泥んこバレー」や、わんこそばコーナーのイベントが行われました。

中でも、泥んこバレーには、県内外の学生を中心に78人が参加、5人程度のチームに分かれてトーナメント戦を行いました。選手らは、泥に足を取られて全身泥まみれになりながら熱戦を繰り広げました。松江市から参加した女性は、「大学のサークル仲間に参加しました。泥の感触は底がザラザラしてたけど気持ちいいです。楽しくて来た甲斐がありました」と話しました。

このほか、菅福社会体育館で山菜料理を使った里山会席を味わうなど、参加者と地元の人たちとの交流の場面もありました。



泥しぐま。そあけながらボールを追う

美しい歌声の里帰り

野崎幹子リサイタル

日野町出身のソプラノ歌手、野崎幹子さんのリサイタルが、5月14日、町文化センターで開かれました。

野崎さんは、懐かしい根雨のまちの風景の話なども織り交ぜながら、モーツァルトの歌曲や日本の叙情歌、オペラの名曲など約20曲を披露しました。集まった聴衆は、野崎さんの艶のある伸びやかな歌声にうっとり聞き入り、惜しみない拍手を送っていました。



時には軽快に、時には優しく響く歌声

笑顔でいらっしやい!

日野高校シヨップ開店

5月13日、出雲街道根雨宿一番館(根雨)に日野高校シヨップが開店しました。

これは、5月から12月の毎月第2土曜日に、日野高校の生徒が授業で作った花や野菜、加工品などを販売するもの。

開店記念のセレモニーで日野高校郷土芸能部が荒神神楽を披露したあと、一番館と商工会館前のテントで生徒が店員になって販売を行いました。

会場には、地元の住民を中心に多くの人らが集まり、生徒たちが心を込めて作った商品を手にとり、買い求めていました。



豆腐、ジャムなどが人気



雑草だらけの河原が見違えるほどきれいに

企業もボランティア

社会貢献活動で草刈り

5月18日、日野中学校付近の日野川周辺の草刈り作業を、中村建設(有)が行いました。

これは、同社が社会貢献活動のひとつとして行っているもので、作業員8人が一日かけて生い茂った雑草を刈り取りました。

日野中学校の谷本和賀雄校長は、「校内は職員・生徒で清掃をしています。外はなかなか手が回らないのが実情です。今回こうした申し出があり、大変ありがたいことだと感謝しています」と喜びを語りました。

根雨小学校田植え

泥って気持ちいいね!

子どもたちに自然の恵みと生産の喜びを感じてもらおうと、5月19日、根雨小学校裏の水田で、同校児童による田植えが行われました。

これは、勤労生産・農業体験学習として毎年行われているもので、児童全員でもち米を育て、来年には収穫した米を使い、保護者らと餅つきをする予定です。

3枚の水田に並んだ児童たちは、久しぶりの泥の感触に歓声を上げながら、苗を一つずつついでいねいに植えていきました。また、水田の周りでは保護者や地域の人たちが、田植えの様子を笑顔で見守っていました。



楽しみながら生産の苦勞を学ぶ



運動会の定番、花吹雪

日頃の疲れを慰労

金持地区運動会

地域住民の交流を図ろうと、金持地区の運動会が、5月21日、金持神社下の広場で開かれました。

好天に恵まれたこの日、金持地区住民約80人が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、スプリンリレー、関所やぶり、借り物競争などお馴染みの競技に汗を流しました。

運動会終了後には、田植え終了を祝う「代みて」を兼ねた懇親会も会場で開かれ、運動会と農作業の疲れを共に癒しました。